

AS/400e



5075 PCI 拡張タワー セットアップ

バージョン 4

AS/400e



5075 PCI 拡張タワー セットアップ

バージョン 4

お願い

本書の情報および本書に記載されている製品をご使用になる前に、vページの『安全と環境上の注意』 および 35ページの『特記事項』を必ずお読みください。

ただし、本書が適用されるのは、RISC システムの場合だけです。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

原 典： SA41-5148-00
AS/400e
Setting Up Your 5075 Expansion Unit
Version 4

発 行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2000.7

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 2000. All rights reserved.

Translation: © Copyright IBM Japan 2000

目次

安全と環境上の注意	v
危険の注記	v
注意の注記	vi
製品のリサイクルと廃棄	vi
バッテリー返却プログラム	vi
環境を考慮した設計	vi
本書、5075 PCI 拡張タワー セットアップ (SA88-5064) について	vii
本書の対象読者	vii
前提条件と関連情報	vii
ご意見をお寄せいただく場合	viii
第1章 5075 PCI 拡張タワー のセットアップの準備	1
ハードウェア要件	1
ケーブルのレイアウトの計画	1
HSL ケーブルおよび SPCN ケーブルの識別	2
冗長リンクの使用	2
システム装置の電源遮断	3
7002 ケーブルの取り付け	4
第2章 システム装置に直接 5075 を接続	9
第3章 別の拡張タワーへの 5075 の接続	11
ループの先頭への 5075 の接続	11
ループの中間への 5075 の接続	13

ループの末端への 5075 の接続	14
第4章 設置の完了	17
第5章 新しい構成の検証	21
付録A. カバーの取り外し	23
5075 およびシステム装置の背面カバー	23
5074 の背面カバー	23
5079 の背面カバー	24
付録B. コネクターの位置	27
270 の HSL コネクターの位置	27
820 の HSL コネクターの位置	28
5075 のコネクターの位置	28
5074 のコネクターの位置	29
5079 のコネクターの位置	30
付録C. システム装置の制御パネル	31
付録D. 503x マイグレーション装置付きシステムの配線規則	33
特記事項	35
電波障害に関する特記事項	36
クラス A	36
商標	36

安全と環境上の注意

危険の注記

「危険の注記」では、この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性がある危険のある内容を示します。

危険

誤配線のある電源コンセントは、システムまたはシステムに接続されている装置の金属部分に危険な電圧を誘起させる原因になります。感電事故防止のため、電源コンセントの正しい配線とコンセントの接地端子を正しく接地する工事はユーザーの責任で行っていただきます。(RSFTD201)

危険

感電事故を防止するために、システムを据え付けるときには、信号ケーブルを接続する前にすべての装置の電源コード・プラグを電源コンセントから確実に抜いておいてください。(RSFTD202)

危険

感電事故を防止するため、システムに装置を追加したり、システムから装置を取り外す前に、その装置の電源コード・プラグを電源コンセントから確実に抜いておいてください。できれば、装置を追加または取り外す前に、現行システムの全装置の電源コード・プラグを電源コンセントから取り外しておいてください。(RSFTD203)

危険

感電事故防止のために、雷雨中に通信回線、表示装置、印刷装置、または電話機などのケーブルや避雷器の接続または取り外し作業は行わないでください。(RSFTD003)

危険

電圧の異なる 2 つの物体の表面に触れたときに起こりうる感電事故を防止するために、できれば片手で信号ケーブルの接続または切り離しを行ってください。(RSFTD004)

注意の注記

「注意の注記」では、この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示します。

注意

電気通信に関する記述: この装置の AC 電源コンセントとこの装置の間には過電圧回路があります。これらの回路は、国際電気委員会 (IEC) 664、設置カテゴリ II の規準に合致しています。IEC 664、設置カテゴリ II の規準に合致する電源コンセントを用意するのはお客様の責任です。(RSFTC214)

製品のリサイクルと廃棄

本システムの構成部品のうち、構造部品や回路カードなどはリサイクル施設があればリサイクル可能です。現在 IBM では、下取りする製品以外、IBM 機器を顧客から回収し、リサイクルすることはしておりません。電子機器の分解、再利用、リサイクル、または廃棄は、業者に委託することができます。詳細については IBM 営業担当員にお問い合わせください。

本システム装置には、鉛のはんだを含んだバッテリーや回路カードが内蔵されています。この装置を廃棄する場合には、これらのバッテリーを回路ボードを取り外し、関連法規に従って、廃棄するかリサイクルしなければなりません。本書には、それぞれのバッテリー固有の情報が該当する箇所に記載されています。

バッテリー返却プログラム

米国において、IBM は、使用済みのバッテリーとバッテリー・パックの再利用、リサイクル、および正しい処分の収集プロセスを確立しました。当装置のバッテリーの正しい処分法については、IBM (1-800-426-4333) にお問い合わせください。連絡の際は、バッテリーの上に記載されている IBM 部品番号を調べておいてください。米国以外におけるバッテリーの処分については、その地域の産業廃棄処分施設にお問い合わせください。

環境を考慮した設計

製品や処理の品質改善の一環として IBM は環境を考慮したシステムの設計を行っています。その成果には、製造過程でのクラス I オゾン破壊物質の使用廃止、製造廃棄物の削減、製品のエネルギー効率の向上などがあります。詳細については IBM 営業担当員にお問い合わせください。

本書、5075 PCI 拡張タワー セットアップ (SA88-5064) について

本書は、5075 PCI 拡張タワーのセットアップに関する情報を紹介します。5075 PCI 拡張タワーは、自分で設置できます。ハードウェアの設置にかかる時間は約 1 ～ 3 時間です。

拡張タワーの設置を自分で行わないということもできます。IBM または特約店に連絡して、有料でそれを設置する手配をしてください。

下記に、5075 PCI 拡張タワーの設置手順の概要を示します。

- 5075 PCI 拡張タワーの設置の準備を行う。
- システム装置の電源を遮断する。
- ケーブルを接続する。
 - 5075 PCI 拡張タワーにケーブルを接続する。
 - AS/400e サーバー 270 または 820 に接続する。あるいは
 - 別の拡張タワーにケーブルを接続する。
- 270 または 820 および 5075 PCI 拡張タワーに電源を入れる。
- 新しい構成を検証する。

本書の対象読者

AS/400 システム、表示装置、およびキーボードの扱いに慣れている必要があります。システムの電源を遮断する方法とシステムの初期プログラム・ロードを実行する方法も知っている必要があります。システム周辺装置 (印刷装置や、モニター、PC など) の電源を遮断する方法も知っている必要があります。

前提条件と関連情報

AS/400 のテクニカル情報を検索するための開始点として、AS/400 Information Center をご使用ください。Information Center には、AS/400e Information Center CD (SK88-8040) から、または次の Web サイトからアクセスすることができます。

<http://www.as400.ibm.com/infocenter>

<http://publib.boulder.ibm.com/pubs/html/as400/infocenter.htm>

AS/400 Information Center には、アドバイザーや重要なトピック (CL コマンド、システム・アプリケーション・プログラミング・インターフェース (API)、論理区画、クラスター化、Java、TCP/IP、Web サービス、およびセキュア・ネットワークなど) が含まれています。また、AS/400 オンライン・ライブラリーや、AS/400 Redbook、AS/400 Technical Studio などの Web サイトへのインターネット・リンクも含まれています。

ご意見をお寄せいただく場合

読者からのフィードバックは、正確で高品質の情報を提供するために重要です。本書や本書以外の AS/400 の資料についてのご意見は、本書の中表紙裏に記載されている URL からお送りください。以下の事項を必ず明記してください。

- 資料名
- 資料番号
- ご意見の該当ページ番号またはトピック

第1章 5075 PCI 拡張タワー のセットアップの準備

本章では、5075 PCI 拡張タワーのセットアップを行なう前に必要な事項について説明します。次の作業が含まれます。

1. 5075 の開梱 (拡張タワーに付属の説明書を参照)。
2. ケーブルのレイアウトの計画。
3. システム装置の電源遮断。
4. 7002 ケーブルの取り付け (必要な場合)。

セットアップのプロセスを開始する前に、新しい拡張タワーをどこに設置するかを慎重に計画してください。大きさ、セキュリティー、そして環境上の要因を含むいくつかの要素を考慮する必要があります。新しい拡張タワーをセットアップする前に、次の Technical Studio Web サイトで *AS/400 設備と計画 ガイド* を参照してください。

<http://www.as400.ibm.com/tstudio>

ハードウェア要件

システム装置が AS/400e サーバー 270 または 820 である場合は、システム装置に直接 5075 を接続することができます。システム装置が AS/400e サーバー 820 である場合は、5075 を別の拡張タワーに接続することもできます。

システム装置に直接 5075 を接続しようとしている場合には、次の前提条件を満たす必要があります。

- 未使用のシステム電源制御ネットワーク (SPCN) コネクター。
- 未使用の高速リンク (HSL) コネクター。

5075 を別の拡張タワーに接続しようとしている場合、820 は、ループ内に最大 5 台の拡張タワーをもつことができます。

ケーブルのレイアウトの計画

ケーブルをどのように配線するかを決めるにあたっては、次のようにしてください。

- *AS/400 設備と計画 ガイド* または Web サイトを参照すること。
- サイトの計画に従うこと。
- 安全上の問題が発生しないようにすること。
- ケーブルを損傷しないようにすること。
- ケーブルを高電圧線に平行に取り付けないようにすること。

HSL ケーブルおよび SPCN ケーブルの識別

高速リンク (HSL) ケーブルおよびシステム電源制御ネットワーク・ケーブルを識別するには、次の表を使用してください。システムは、HSL ケーブルを使用して、5075 と通信します。SPCN ケーブルは、5075 への電源を制御するのに使用されません。

下記にリストする HSL ケーブルまたは SPCN ケーブルの中から、必要なものを用意してください。

表1. HSL ケーブル

CCIN 番号	長さ	部品番号
0343	3 メートル	44L0005
0361	6 メートル	97H7490
0368	15 メートル	97H7491

表2. SPCN ケーブル

CCIN 番号	長さ	部品番号
9206	2 メートル	87G6235
9219	6 メートル	21F9469
9213	15 メートル	21F9358
9214	30 メートル	21F9359

冗長リンクの使用

冗長リンク とは、主たるリンクが何らかの損傷を受けた場合にシステムが使用できる、2 次的な HSL 接続のことです。冗長リンク構成は、拡張タワーとシステム装置との間に、追加の HSL ケーブル・リンクを接続しておくことにより、作成することができます。

リンクが障害を起こすような場合にディスク装置に継続してアクセスできるように、ケーブルのレイアウトを計画するときに、冗長リンク構成を使用してください。

AS/400 システム装置に直接 5075 を接続

3ページの図1 は、冗長リンク構成を使用するケーブル計画の一例を示しています。

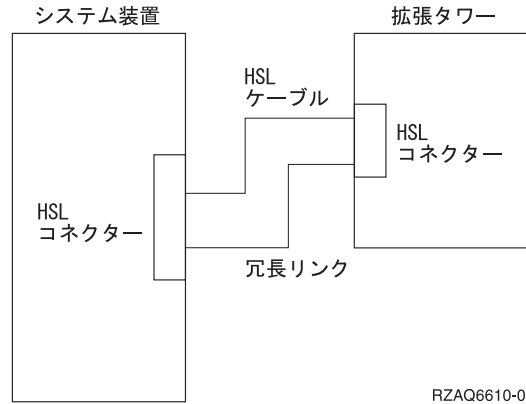


図 1. 1 つの拡張タワーの場合の冗長リンクの計画

5075 をループ内に接続

図2 は、冗長リンク構成を使用するケーブル計画の一例を示しています。

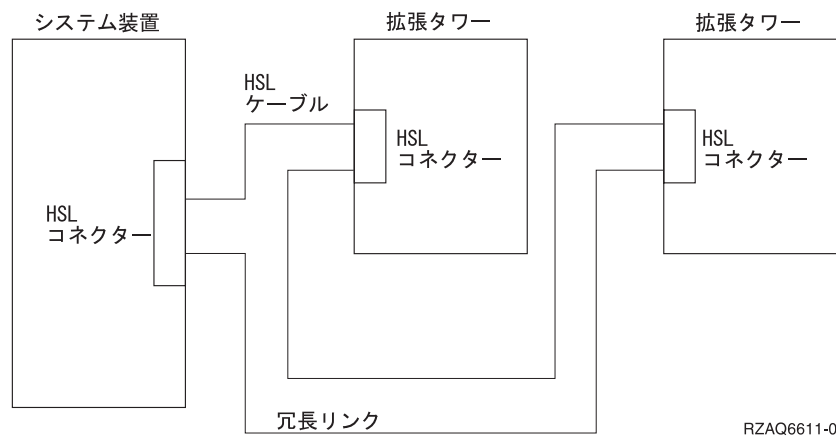


図 2. 2 つの拡張タワーの場合の冗長リンクの計画

システム装置の電源遮断

5075 をセットアップする前にシステム装置の電源を遮断する必要があります。

- __ 1. システム装置上に論理区画がある場合は、AS/400 Information Center を参照して、区画のあるシステムの電源遮断に関する指示を見付けてください。
- __ 2. すべてのジョブが完了していることを確認します。
- __ 3. すべてのジョブが完了していたら、AS/400 コマンド行に PWRDWN SYS *IMMED と入力して実行キーを押します。
- __ 4. システム装置が完全に電源遮断された後に、それに接続されているすべてのパーソナル・コンピューター (PC) および装置類 (印刷装置や表示装置など) を電源オフします。
- __ 5. システム装置に接続されているすべての電源コード (印刷装置、拡張タワー、および表示装置などの電源コード) を抜きます。
- __ 6. システム装置の電源コードをコンセントから抜きます。
- __ 7. 5075 と一緒に 7002 HSL イネーブラー・ケーブルを受け取りましたか?

はい いいえ

↓ 9ページの『第2章 システム装置に直接 5075 を接続』または 11ページの『第3章 別の拡張タワーへの 5075 の接続』へ進んでください。

__ 8. 『7002 ケーブルの取り付け』へ進んでください。

7002 ケーブルの取り付け

5075 と一緒に 7002 HSL イネーブラー・ケーブルが納入された場合は、5075 をセットアップする前にそれを AS/400 270 の中に取り付ける必要があります。7002 ケーブルを取り付けるには、以下のステップに従ってください。

- __ 1. 右側のカバー (背面から見て) を取り外します。
 - __ a. ねじを緩めます。
 - __ b. カバーを前方から後方に向けて停止するまでスライドさせます。
 - __ c. カバーを引き抜きます。

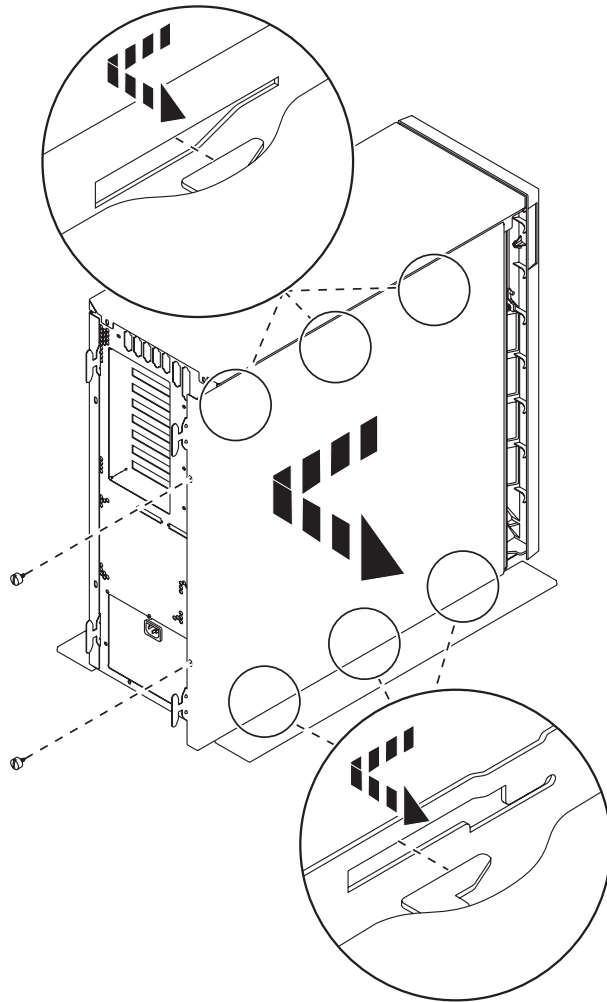


図3. システム装置のサイド・カバーの取り外し

システム装置にはバッテリーが入っています。このバッテリーを交換することができるのは、訓練されたサービス技術員だけです。

⚠ 注意

バッテリーはリチウム電池です。このバッテリーの交換は、訓練を受けたサービス技術員のみが、問題判別、修理、および保守マニュアルの指示に従って行ってください。爆発の危険を防止するために、バッテリーを焼却または充電してはなりません。IBM 指定の部品とだけ交換してください。バッテリーを廃棄するときには、関連法規を順守してください。(RSFTC241)

- 2. 静電気の放電による装置の損傷を防ぐため、使い捨てリスト・バンドを着用します。図4 は、リスト・バンド上のフォイルの接着部分を塗装されていない表面にどのように取り付けるかの例を示しています。

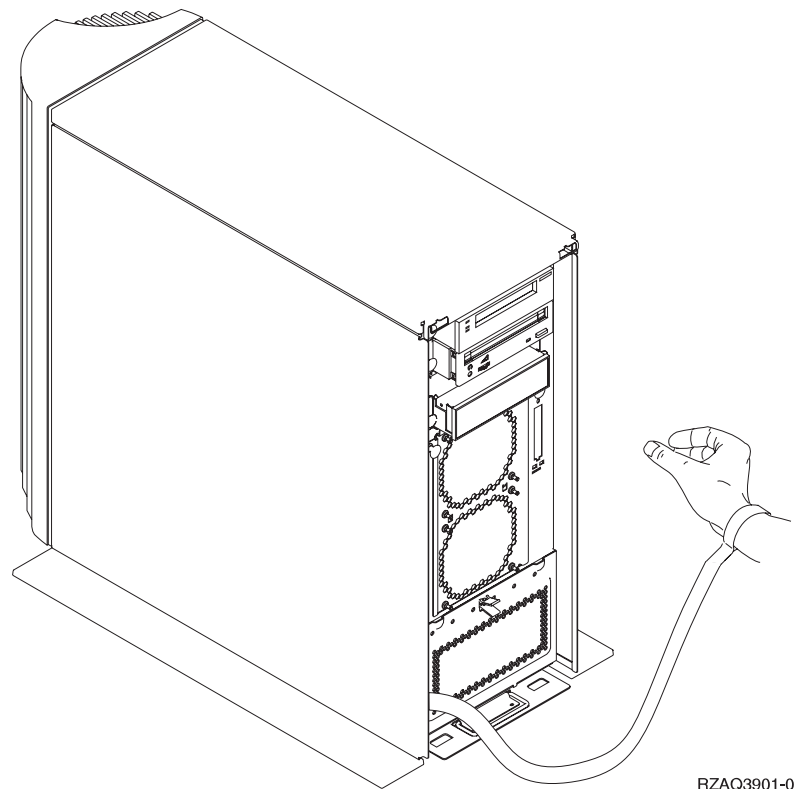
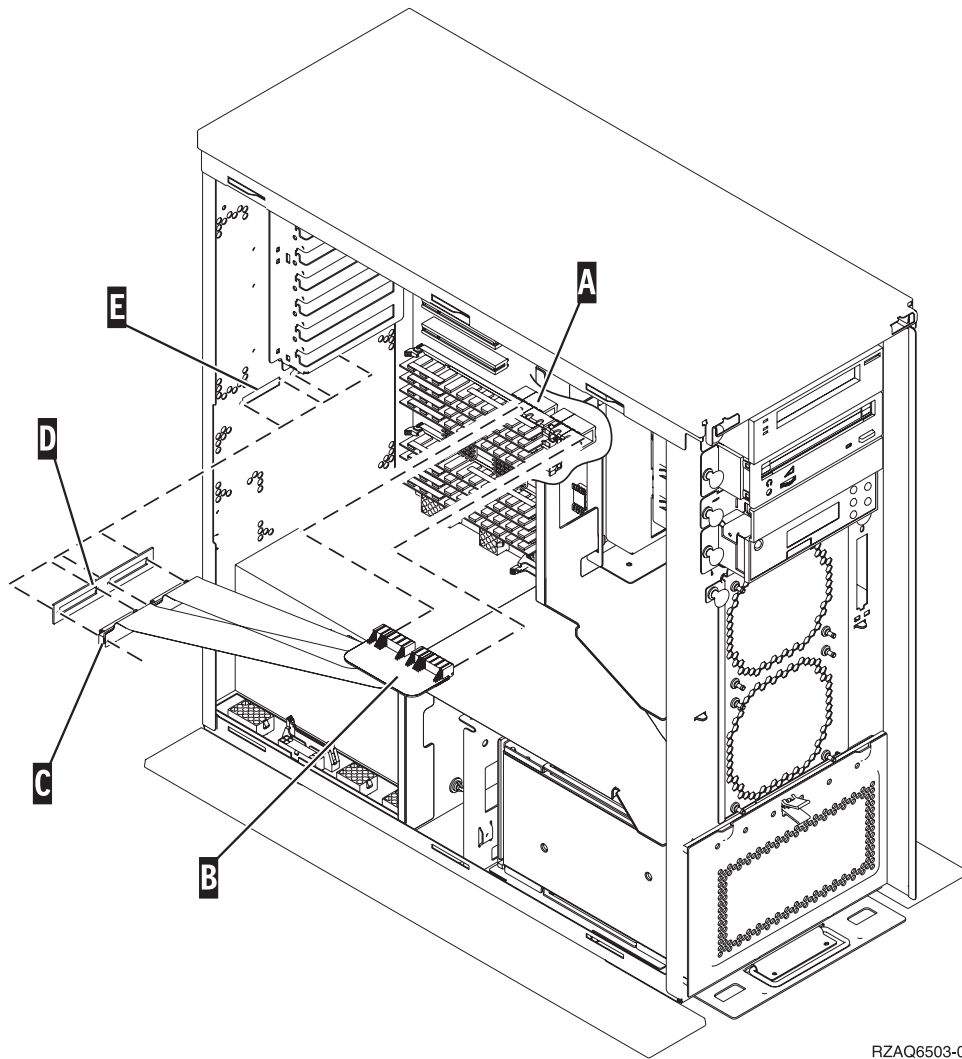


図4. リスト・バンドの取り付け

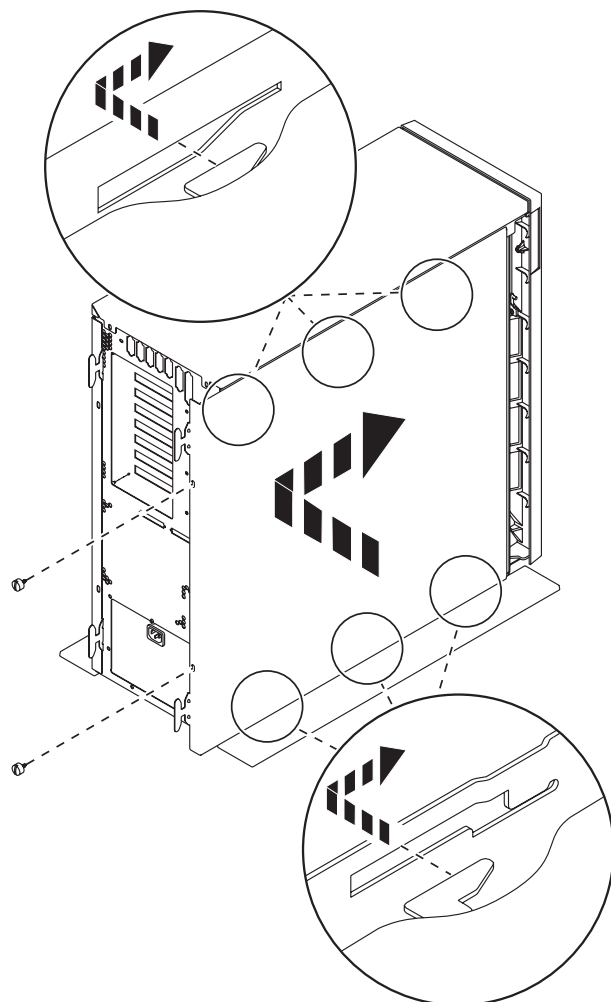
- 3. HSL ケーブル・ポートを覆っているテープを **E** からはがします (6ページの図5)。
- 4. ガスケット **D** をコネクタ **C** にかぶせます。
- 5. コネクタ **C** を **E** の HSL ケーブル・ポートに取り付けます。
- 6. 留めねじをコネクタ **B** に取り付けます。
- 7. コネクタ **B** を **A** の背面に差し込みます。



RZAQ6503-0

図5. 7002 HSL イネーブラー・ケーブルの取り付け

- __ 8. リスト・バンドを取り外します。
- __ 9. **7ページの図6** は、システム装置の側面カバーを、上部と下部のタブをエッジの位置に合わせて取り付ける方法を示しています。前方に押し、すべてのタブがスロットに入っていることを確認します。カバーをシステム装置の前方に向かって停止するまでスライドさせ、ねじを取り付けます。



RZAQ3910-0

図6. システム装置の側面カバーの取り付け

第2章 システム装置に直接 5075 を接続

本章では、AS/400 システム装置に直接 5075 を接続する方法について説明します。5075 を、他の拡張タワーが付いたループ内に設置しようとしている場合は、この章を飛ばして、11ページの『第3章 別の拡張タワーへの 5075 の接続』へ進んでください。

開始する前に、システム装置の電源を遮断してあることを確認してください。手順については、3ページの『システム装置の電源遮断』を参照してください。

設置中に問題が生じた場合は、IBM 特約店またはサービス提供者に連絡してください。

危険

電圧の異なる 2 つの物体の表面に触れたときに起こりうる感電事故を防止するために、できれば片手で信号ケーブルの接続または切り離しを行ってください。 (RSFTD004)

- 1. システム装置および 5075 から背面カバーを取り外します。手順が必要な場合は、23ページの『付録A. カバーの取り外し』へ進んでください。
- 2. HSL ケーブルを 5075 上の HSL コネクター 0 に接続します。コネクターの位置については、27ページの『付録B. コネクターの位置』へ進んでください。
- 3. 冗長リンクを設置しようとしている場合は、HSL ケーブルを 5075 上の HSL コネクター 1 に接続します。
- 4. SPCN ケーブルを 5075 上のコネクター J15 に接続します。
- 5. 電源ケーブルを 5075 に接続します。電源ケーブルのプラグをコンセントには差し込まないでください。
- 6. 拡張タワー上のコネクター 0 からの HSL ケーブルをシステム装置上のコネクター A0 に接続します。
- 7. 冗長リンクを設置しようとしている場合は、拡張タワー上のコネクター 1 からのケーブルをシステム装置上のコネクター A1 に接続します。
- 8. 拡張タワー上のコネクター J15 からの SPCN ケーブルをシステム装置上のコネクター J15 に接続します。
- 9. システム装置および拡張装置に背面カバーを取り付けます。
- 10. 17ページの『第4章 設置の完了』へ進んでください。

第3章 別の拡張タワーへの 5075 の接続

この章は、AS/400e サーバー 820 にだけ適用されます。システム装置が AS/400e サーバー 270 である場合は、5075 を 1 台しか接続できません。システム装置が AS/400e サーバー 820 である場合は、1 つのループ内で最大 5 台の拡張タワーに接続することができます。この章では、5075 拡張タワーを、他の拡張タワーがあるループ内に接続する方法を説明しています。5075 は、HSL ハードウェアをもつ他の拡張タワーにだけ接続できます。

5075 をループに接続する際、それをループ内のどこに設置するかについて 3 通りの位置が考えられます。以下の手順には、3通りの位置についての指示が記載されています。

- 『ループの先頭への 5075 の接続』
- 13ページの『ループの中間への 5075 の接続』
- 14ページの『ループの末端への 5075 の接続』

システム構成に最も良く合う手順に従ってください。

開始する前に、システム装置の電源を遮断してあることを確認してください。手順については、3ページの『システム装置の電源遮断』を参照してください。

拡張タワーまたはシステム装置上のコネクタを見つけるのに助けが必要な場合は、27ページの『付録B. コネクタの位置』を参照してください。

820 に 503x マイグレーション装置が接続されている場合は、先に進む前に 33ページの『付録D. 503x マイグレーション装置付きシステムの配線規則』をお読みください。

設置中に問題が生じた場合は、IBM 特約店またはサービス提供者に連絡してください。

503x マイグレーション装置への接続

システム装置に 503x マイグレーション装置が付いている場合、先に進む前に 33ページの『付録D. 503x マイグレーション装置付きシステムの配線規則』をお読みください。

ループの先頭への 5075 の接続

拡張タワーのループ内の最初の位置に 5075 を接続するには、この手順を使用してください。この手順では、システム装置と現在最初の位置にある拡張タワーの間に 5075 を接続します。以下の手順では、現在最初の位置にある拡張タワーを、12ページの図7 と 12ページの図8 で示されるように装置 X と呼びます。

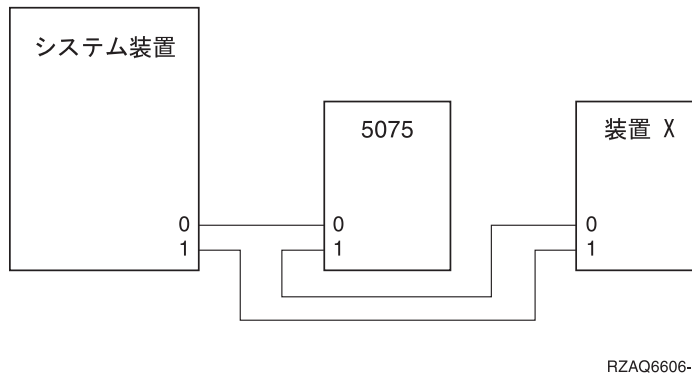


図7. HSL 接続

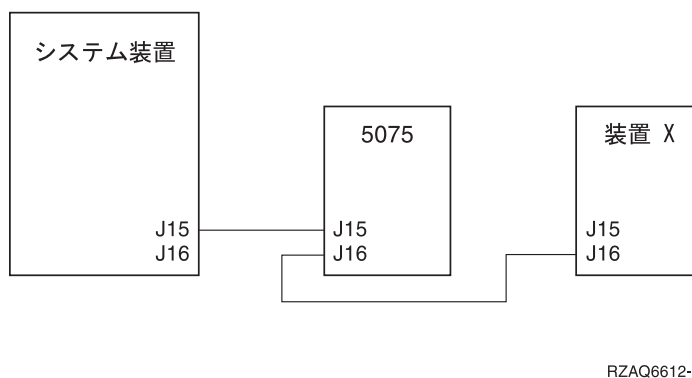


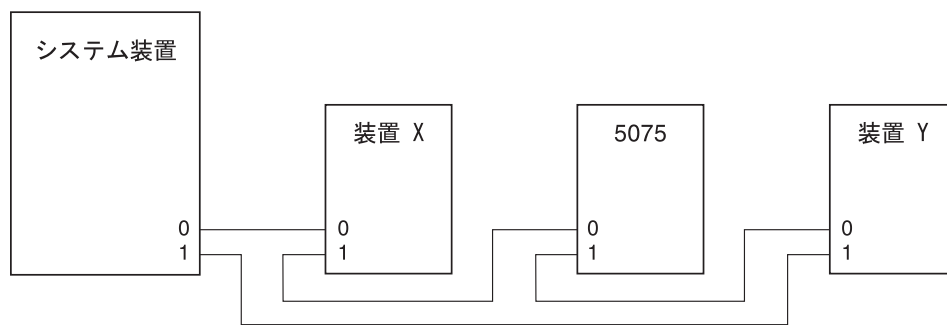
図8. SPCN 接続

- ___ 1. 拡張タワーおよびシステム装置から背面カバーを取り外します。手順が必要な場合は、23ページの『付録A. カバーの取り外し』へ進んでください。
- ___ 2. ケーブルを 5075 に接続します。コネクタの位置については、27ページの『付録B. コネクタの位置』へ進んでください。
 - ___ a. 新しい HSL ケーブルを HSL コネクタ 1 に接続します。
 - ___ b. 新しい SPCN ケーブルをコネクタ J16 に接続します。
 - ___ c. 電源ケーブルを接続します。プラグをコンセントには差し込まないでください。
- ___ 3. 装置 X で、HSL ケーブルを HSL コネクタ 0 から取り外します。このケーブルは、装置 X とシステム装置を接続していました。
- ___ 4. 装置 X で、SPCN ケーブルをコネクタ J15 から取り外します。このケーブルは、装置 X とシステム装置を接続していました。
- ___ 5. システム装置からの HSL ケーブルを 5075 上の HSL コネクタ 0 に接続します。このケーブルは、システム装置と 5075 の間を通るようになるはずですが。
- ___ 6. システム装置からの SPCN ケーブルを 5075 上の SPCN コネクタ J15 に接続します。このケーブルは、システム装置と 5075 の間を通るようになるはずですが。

- __ 7. 5075 の HSL コネクター 1 からの HSL ケーブルを装置 X 上の HSL コネクター 0 に接続します。このケーブルは、5075 と装置 X の間を通るようになるはずですが。
- __ 8. SPCN ケーブルを 5075 のコネクター J16 から装置 X 上のコネクター J15 に接続します。このケーブルは 5075 と装置 X の間を通るようになるはずですが。
- __ 9. 拡張タワーのすべてとシステム装置にカバーを取り付けます。
- __ 10. 17ページの『第4章 設置の完了』へ進んでください。

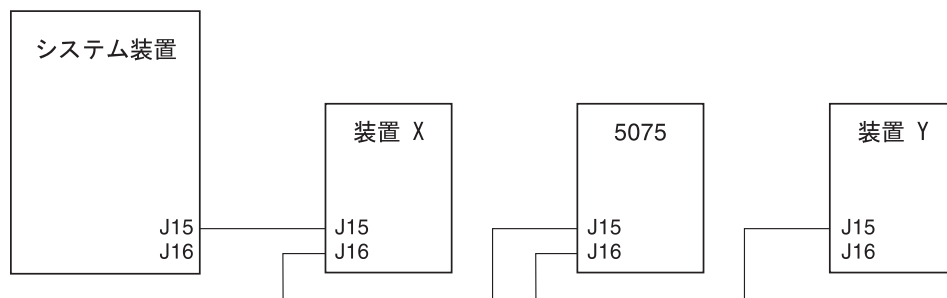
ループの中間への 5075 の接続

ループの中間に 5075 を設置しようとしている場合は、この手順を使用してください。言いかえると、5075 を他の 2 台の拡張タワーの間に設置する場合です。これらの拡張タワーは、図9 と図10 に示されるように装置 X と装置 Y と呼びます。



RZAQ6607-1

図9. HSL 接続



RZAQ6613-0

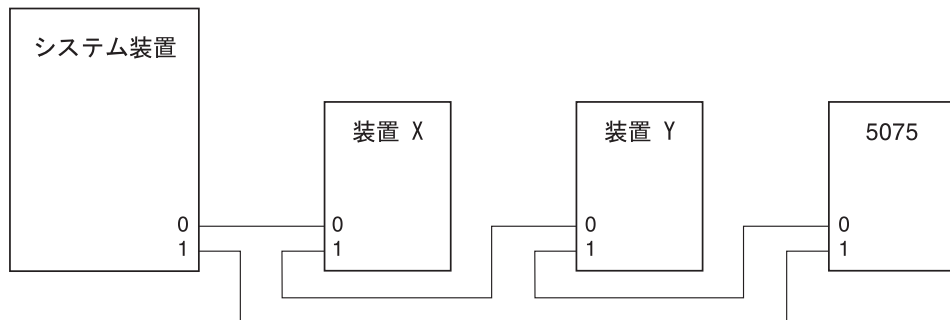
図10. SPCN 接続

- __ 1. 拡張タワー、5075、およびシステム装置から背面カバーを取り外します。手順が必要な場合は、23ページの『付録A. カバーの取り外し』へ進んでください。
- __ 2. 装置 Y で SPCN ケーブルをコネクター J15 から取り外します。
- __ 3. 装置 Y で HSL ケーブルをコネクター 0 から取り外します。

- __ 4. これらのケーブルを 5075 に接続します。コネクタの位置については、27 ページの『付録B. コネクタの位置』へ進んでください。
 - __ a. 新しい HSL ケーブルを HSL コネクタ 1 に接続します。
 - __ b. 新しい SPCN ケーブルをコネクタ J16 に接続します。
 - __ c. 電源ケーブルを接続します。プラグをコンセントには差し込まないでください。
- __ 5. 装置 X からの HSL ケーブルを 5075 上の HSL コネクタ 0 に接続します。このケーブルは、装置 X と 5075 の間を通るようになりました。
- __ 6. 装置 X からの SPCN ケーブルを 5075 上の SPCN コネクタ J15 に接続します。このケーブルは、装置 X と 5075 の間を通るようになりました。
- __ 7. 5075 上のコネクタ 1 に取り付けてあった HSL ケーブルを装置 Y 上のコネクタ 0 に接続します。
- __ 8. 5075 上のコネクタ J16 に取り付けてあった SPCN ケーブルを装置 Y 上のコネクタ J15 に接続します。
- __ 9. 拡張タワーのすべてとシステム装置にカバーを取り付けます。
- __ 10. 17ページの『第4章 設置の完了』へ進んでください。

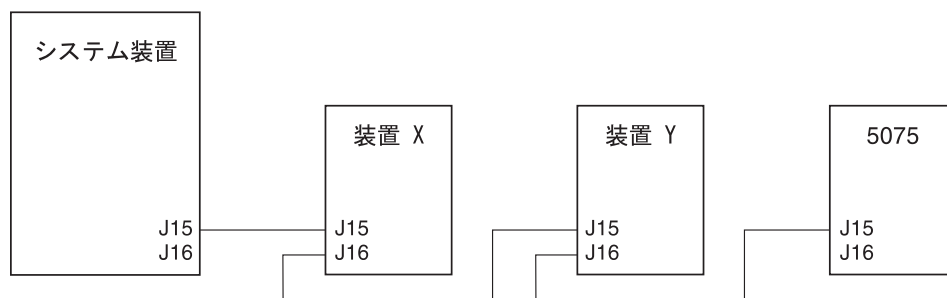
ループの末端への 5075 の接続

拡張タワーのループ内の最後の位置に 5075 を設置するには、この手順を使用してください。この手順では、システム装置と現在最後の位置にある拡張タワーの間に 5075 を接続します。現在最後の位置にある拡張タワーを、図11 と15ページの図12 に示されるように装置 Y と呼びます。



RZAQ6608-1

図 11. HSL 接続



RZAQ6614-0

図 12. SPCN 接続

- __ 1. 拡張タワー、5075、およびシステム装置から背面カバーを取り外します。手順が必要な場合は、23ページの『付録A. カバーの取り外し』へ進んでください。
- __ 2. ケーブルを 5075 に接続します。コネクタの位置については、27ページの『付録B. コネクタの位置』へ進んでください。
 - __ a. 新しい HSL ケーブルを HSL コネクタ 0 に接続します。
 - __ b. 新しい SPCN ケーブルをコネクタ J15 に接続します。
 - __ c. 電源ケーブルを接続します。プラグをコンセントには差し込まないでください。
- __ 3. 装置 Y の HSL ケーブルをコネクタ 1 から取り外します。このケーブルは、装置 Y とシステム装置を接続していました。
- __ 4. 5075 の HSL コネクタ 0 からの HSL ケーブルを装置 Y 上の HSL コネクタ 1 に接続します。
- __ 5. 5075 のコネクタ J15 からの SPCN ケーブルを装置 Y 上のコネクタ J16 に接続します。
- __ 6. 拡張タワーのすべてとシステム装置にカバーを取り付けます。
- __ 7. 17ページの『第4章 設置の完了』へ進んでください。

第4章 設置の完了

設置を完了するため、以下の手順を行います。

- __ 1. 次のシステム構成要素のカバーが、すべて取り付けられていることを確認してください。
 - __ a. AS/400 システム装置
 - __ b. すべてのシステム拡張装置

危険

誤配線のある電源コンセントは、システムまたはシステムに接続されている装置の金属部分に危険な電圧を誘起させる原因になります。感電事故防止のため、電源コンセントの正しい配線とコンセントの接地端子を正しく接地する工事はユーザーの責任で行っていただきます。(RSFTD201)

注: システム装置の電源コードのプラグを差し込むと、ファンが始動する場合があります。システム参照コードが表示されます。これらのアクションは正常です。これらは、システム装置が初期プログラム・ロード (IPL) を行っていないことを示しています。

- __ 2. 次のシステム構成要素の電源コードを、コンセントに差し込んでください。
 - __ a. システム装置
 - __ b. システムに接続されたすべての拡張装置
 - __ c. システム装置コンソール
 - __ d. システム・プリンター
- __ 3. 次のシステム構成要素のそれぞれを、関連する電源オン・ボタンを使用して電源をオンにします。
 - __ a. システム・プリンター (ある場合)。
 - __ b. システム制御コンソール。
- __ 4. システム装置は、AS/400e 270 または 820 ですか ?
 - 270 820**
 - ↓ ステップ 7へ進んでください。
- __ 5. 制御パネルの「機能/データ」表示パネルを見ます。制御パネルについての情報が必要な場合は、31ページの『付録C. システム装置の制御パネル』を参照してください。
- __ 6. 「機能/データ」表示パネルに **01 B N V=S** が表示されましたか ?
 - はい いいえ
 - ↓ 以下を行ってください。
 - __ a. 「機能/データ」表示パネルに **02** が表示されるまで、「増分/減分」押しボタンを押します。
 - __ b. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

- __ c. 「機能/データ」表示パネルに **B** が表示されるまで、「増分/減分」押しボタンを押します。
 - __ d. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - __ e. 「機能/データ」表示パネルに **N** が表示されるまで、「増分/減分」押しボタンを押します。
 - __ f. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - __ g. 「機能/データ」表示パネルに **S** が表示されるまで、「増分/減分」押しボタンを押します。
 - __ h. 「機能/データ」表示パネルに **01** が表示されるまで、「増分/減分」押しボタンを押します。
「機能/データ」表示パネルに **01 B N S** が表示されるはずですが、表示されない場合は、17ページの6a ~ 6h のステップを繰り返します。
 - __ i. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - __ j. ステップ 9へ進んでください。
- __ 7. 制御パネルの「機能/データ」表示パネルを見ます。制御パネルについての情報が必要な場合は、31ページの『付録C. システム装置の制御パネル』を参照してください。
- __ 8. 「機能/データ」表示パネルに **01 B V=S** が表示されましたか？
- はい いいえ
- ↓ 以下を行ってください。
- __ a. 「手動」モード標識 (小さな手) が点灯するまで、「モード選択」ボタンを押します。
 - __ b. 「機能/データ」表示パネルに **02** が表示されるまで、「増分/減分」押しボタンを押します。
 - __ c. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - __ d. 「機能/データ」表示パネルに **B** が表示されるまで、「増分/減分」押しボタンを押します。
 - __ e. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - __ f. 「機能/データ」表示パネルに **S** が表示されるまで、「増分/減分」押しボタンを押します。
 - __ g. 「正常」標識 (**OK**) が点灯するまで「モード選択」ボタンを押します。
 - __ h. 「機能/データ」表示パネルに **01** が表示されるまで、「増分/減分」押しボタンを押します。
 - __ i. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
「機能/データ」表示パネルに **01 B S** が表示されるはずですが、表示されない場合は、8a ~ 8h のステップを繰り返します。
 - __ j. ステップ 9へ進んでください。
- __ 9. 白い「電源」押しボタンを押し、システム装置に電源を入れます。

注: IPL が完了するまでにかかる時間は、AS/400 のモデルおよび構成によって変わってきます。

- __ 10. システム装置にサインオンします。必ず保守ツール権限があるようにしてください。
- __ 11. 21ページの『第5章 新しい構成の検証』へ進んでください。

第5章 新しい構成の検証

以下を行って、新しい構成を検証します。

- __ 1. AS/400 コマンド行で、**STRSST** と入力します。実行キーを押します。
- __ 2. 「システム・サービス・ツール」メニューが表示されたら、「サービス・ツールの開始」オプションを選択します。
実行キーを押します。
- __ 3. 「サービス・ツールの開始」メニューが表示されたら、「ハードウェア保守管理機能」オプションを選択します。
実行キーを押します。
- __ 4. 「ハードウェア保守管理機能」メニューが表示されたら、「パッケージ・ハードウェア資源 (システム、フレーム、カード...)」オプションを選択します。
実行キーを押します。

新しい拡張タワーがリストに表示されます。フレーム ID と資源名をここに記録してください：_____、_____。拡張タワーが表示されない場合、正しく設置されているかどうか次のようにして検証する必要があります。

- __ a. 5075 が電源オンされているか確認します。
- __ b. ケーブルを正しく取り付けたか確認します。9ページの『第2章 システム装置に直接 5075 を接続』または 11ページの『第3章 別の拡張タワーへの 5075 の接続』を参照してください。
- __ 5. 新しい 5075 用に重要プロダクト・データ (VPD) を更新する必要があります。
 - __ a. F3 を押して、「ハードウェア保守管理機能」画面に戻ります。
 - __ b. 「ハードウェア保守管理機能」画面で、「システム電源制御ネットワーク (SPCN)」を選択します。
 - __ c. 実行キーを 2 回押します。
 - __ d. 「システム電源制御ネットワーク」画面でフレーム ID によりご使用の拡張タワーを見つけます。
 - __ e. 下記の例で示されているように「装置」フィールドが 0 になっているフレーム ID に **3** (VPD の書き出し) を入力します。実行キーを押します。

例: 拡張タワーのフレーム ID が 2 の場合、カーソルを 02 の前に置きます。次に、下記の例に示されているように、**3** (VPD の書き出し) を入力します。「装置」フィールドが 0 になっているフレーム ID を使用します。

システム電源制御ネットワーク (SPCN)

バッテリー容量テスト : 活動化

オプションを入力して、実行キーを押してください。

3=VPD の書出し 5= 詳細の表示 6= トレース・ログの表示

7= バッテリー・インターフェースのテスト

OPT	フレーム	装置	タイプ	製造 番号	障害
	01	0		00-00000	NO
	01	1		00-00000	NO
3	02	0		00-00000	NO

__ f. 「重要なプロダクト・データ (VPD) の書き出し」画面で、次の情報を入力します。

__ 1) 「タイプ」フィールドに **5075** を入力します。

__ 2) 「型式」フィールドに **001** と入力します。

__ 3) 「製造番号」フィールドに製造番号 (中央パネルのラベルに記載されています) を入力します。

__ g. 実行キーを押します。

メッセージ「重要プロダクト・データが正常に書き込まれました」が表示されます。

__ 6. F3 を押して、「ハードウェア保守管理機能」画面に戻ります。

__ 7. 「ハードウェア保守管理機能」画面から F6 (構成の印刷) を押して、構成リストを印刷します。

__ 8. 今後参照するのに備えて、構成リストを本書にはさんでおきます。

__ 9. 「AS/400 メイン・メニュー」に戻るには、F3 (終了) を 2 回押してから実行キーを押します。

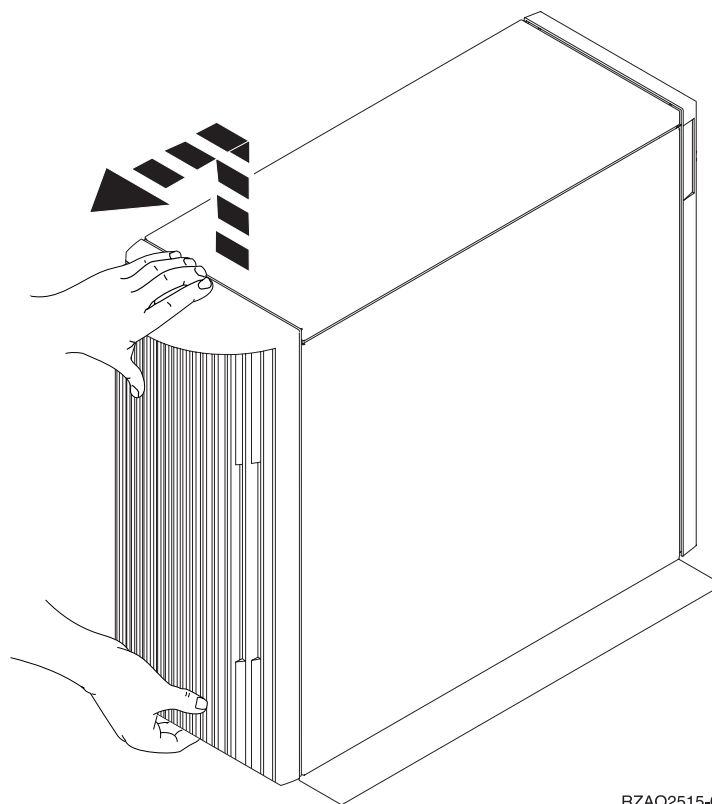
これで、拡張タワーの設置は完了しました。

付録A. カバーの取り外し

5075 およびシステム装置の背面カバー

5075 およびシステム装置の背面カバーを取り外すには、持ち上げて手前に引きま
す。

注: 5075、270、および 820 の背面カバーの外観は異なっています。ただし、それ
らを取り外す手順は同じです。

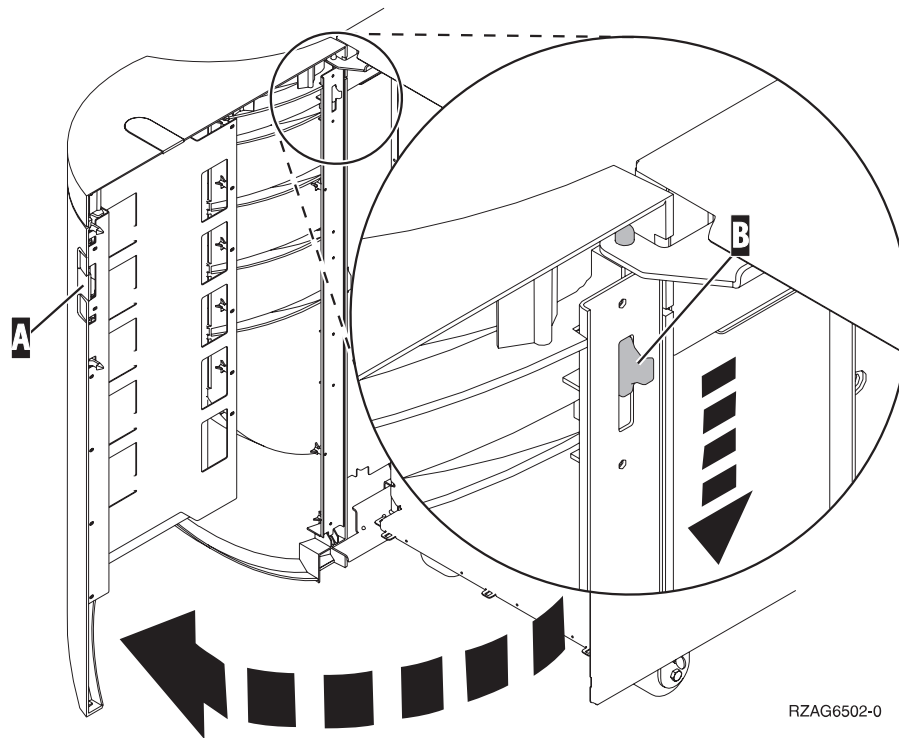


RZAQ2515-0

図 13. システム装置または拡張タワーの背面カバーの取り外し

5074 の背面カバー

1. **A** で示されたラッチを使用して、拡張タワーの背面カバーを開きます。
2. 必要に応じて、**B** で示されたラッチを使用して、背面カバーを取り外します。

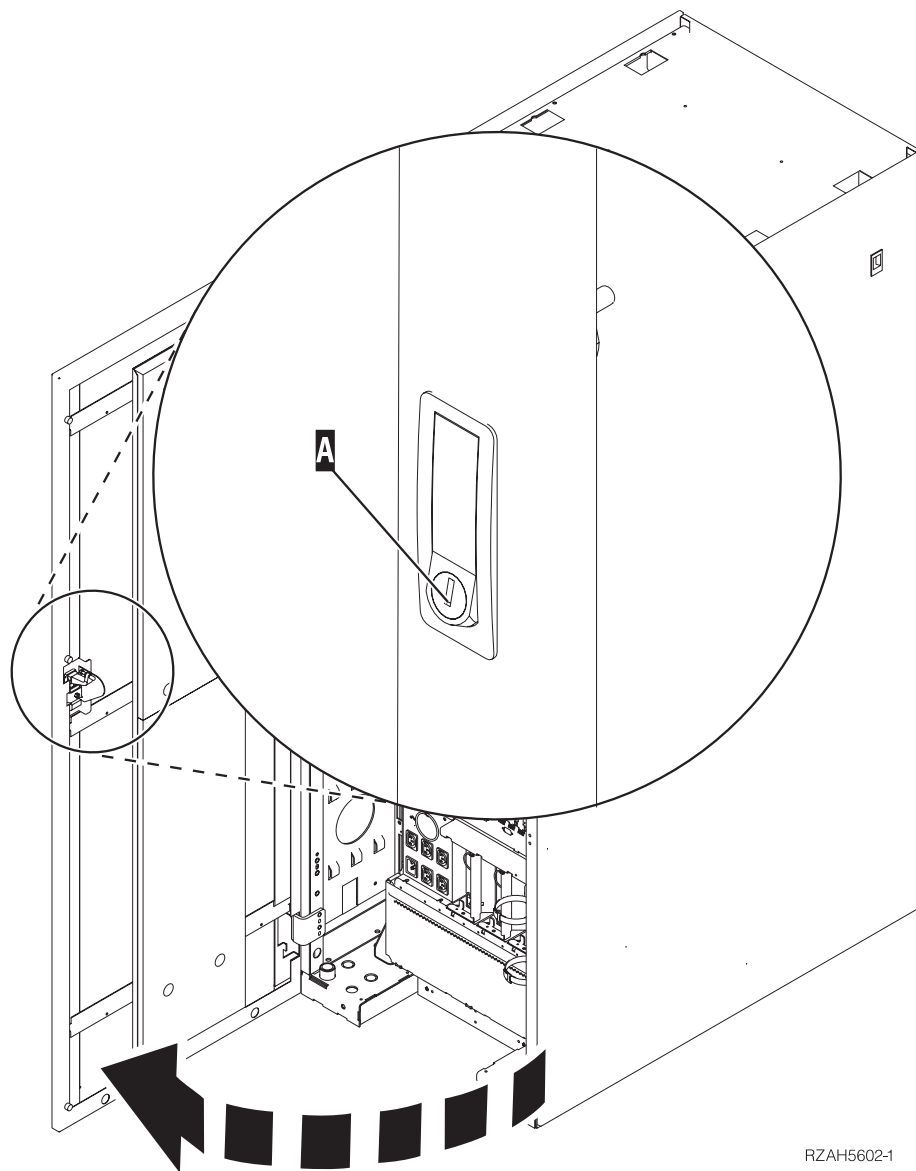


RZAG6502-0

図 14. 5074 の背面カバーの開き方

5079 の背面カバー

5079 で背面カバーを開くには、**A** のラッチを押します。



RZAH5602-1

図 15. 5079 の背面カバーの開き方

付録B. コネクターの位置

270 の HSL コネクターの位置

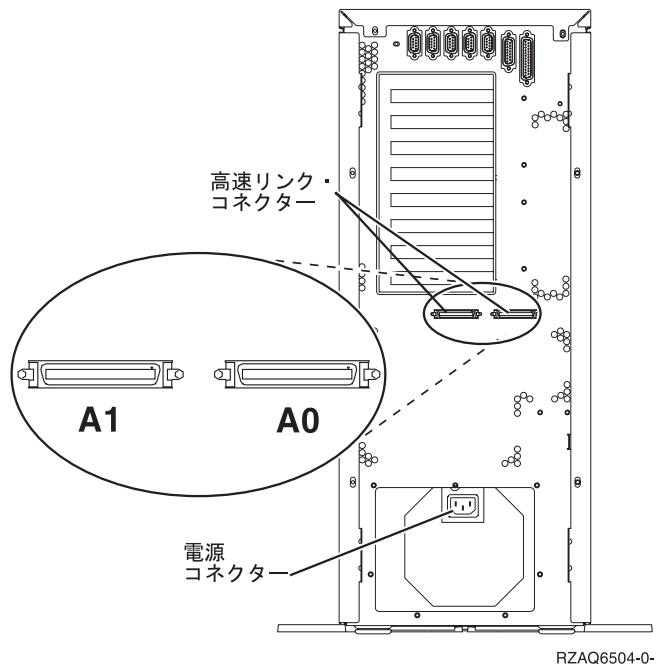


図 16. 270 の HSL コネクターの位置

820 の HSL コネクターの位置

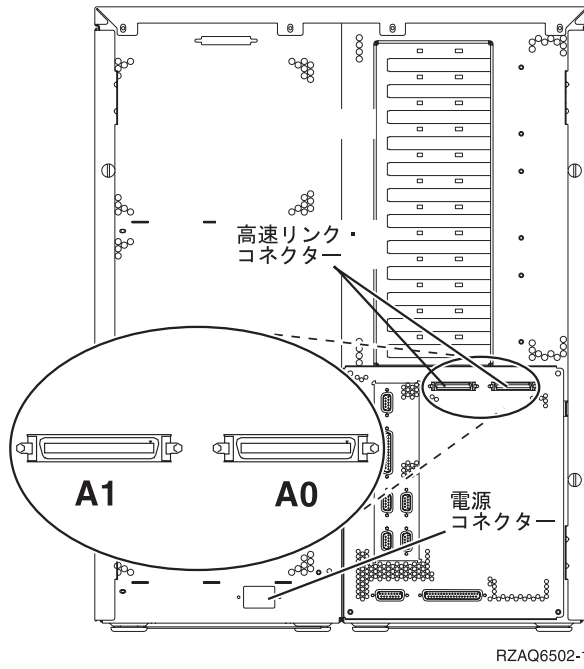


図 17. 820 の HSL コネクターの位置

5075 のコネクターの位置

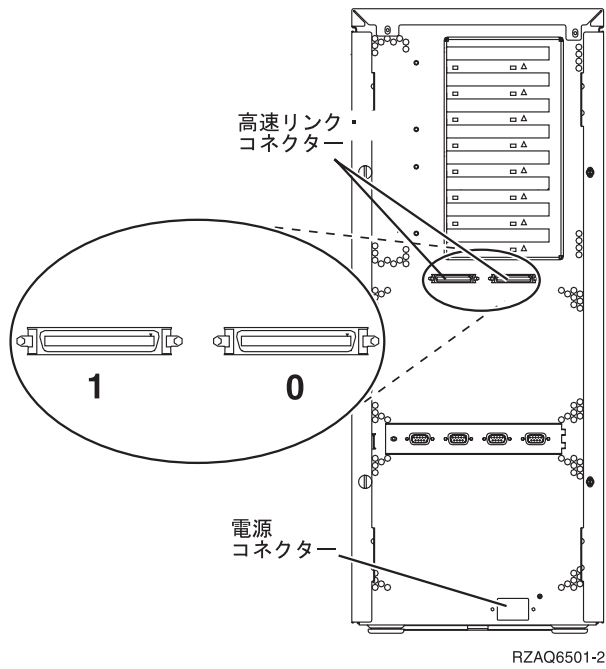


図 18. 5075 のコネクターの位置

5074 のコネクターの位置

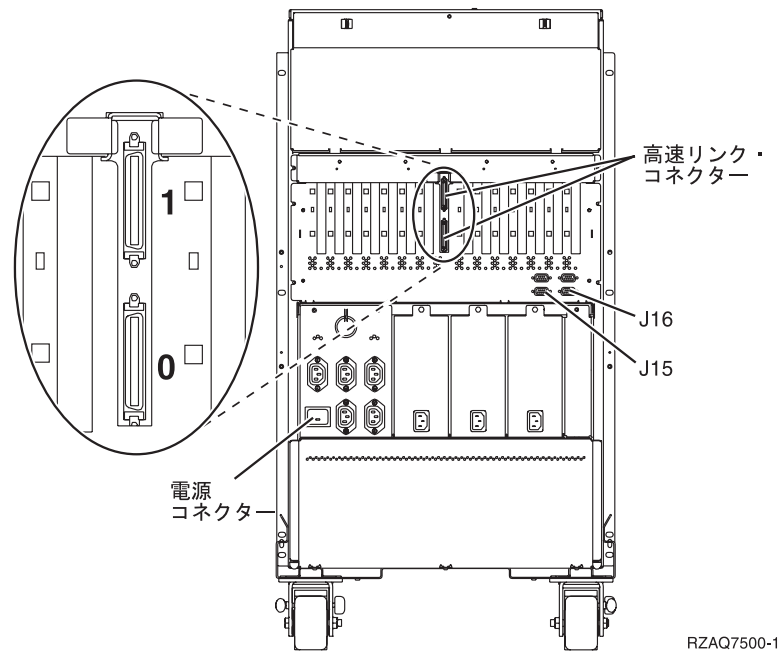


図 19. 5074 のコネクターの位置

5079 のコネクタの位置

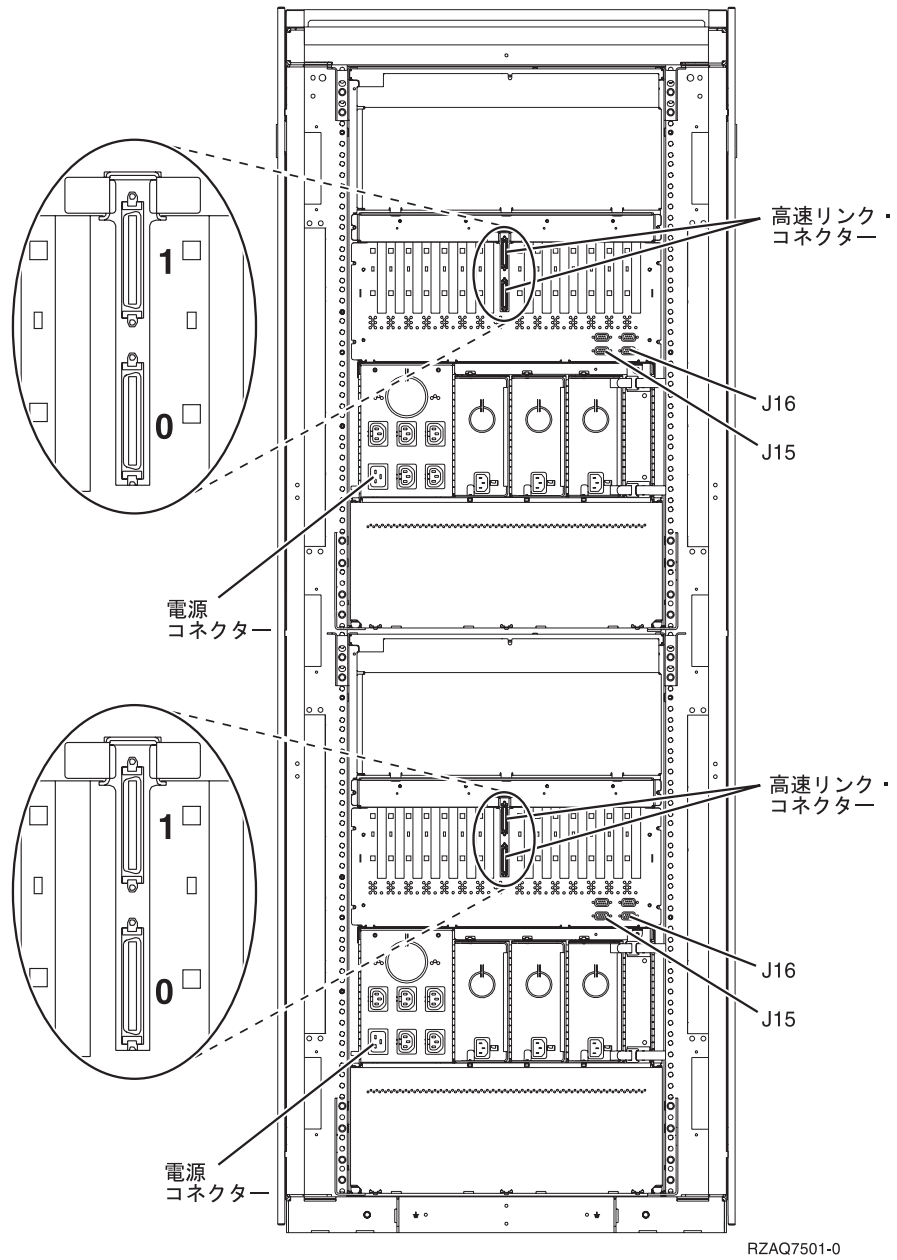
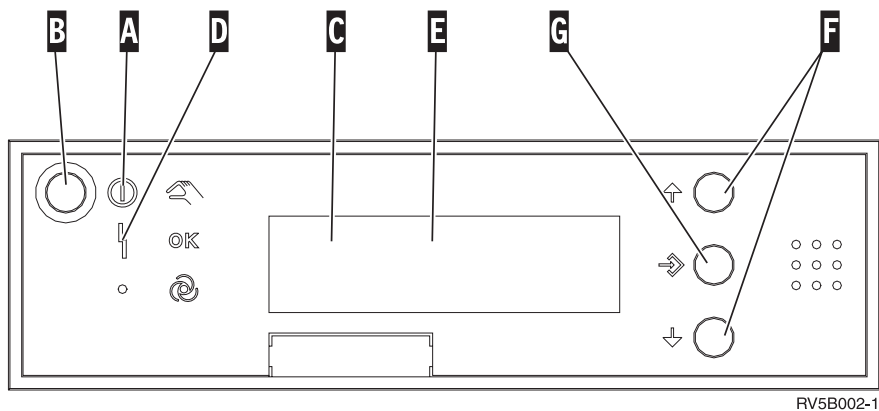


図 20. 5079 のコネクタの位置

付録C. システム装置の制御パネル

1. AS/400 システム装置の前面に回ります。制御パネルの扉を開きます。
2. 制御パネルの外観は次のようですか？



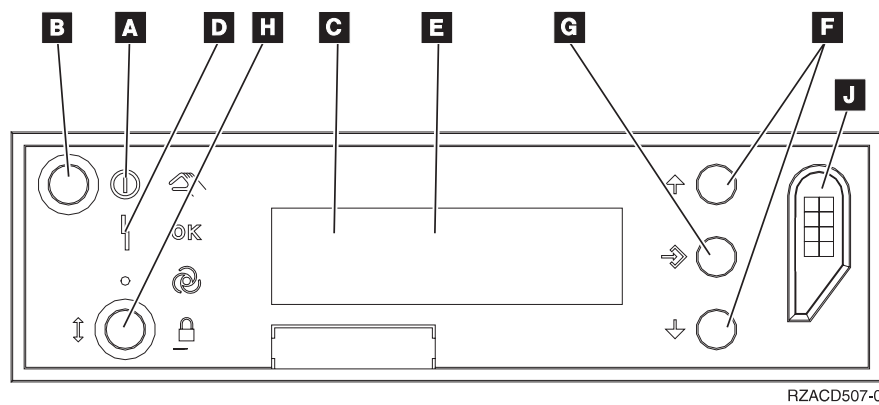
RV5B002-1

いいえ はい

↓ 制御パネルでは押しボタンを使用します。装置の制御パネルの扱い方に慣れてください。

3. 制御パネルの外観は次のようです。F 「増分/減分」 ボタンおよび G 「機能開始」 押しボタンを使用できるようにする前に、H 「モード選択」 を押して手動モードを選択する必要があります。

制御パネルでは押しボタンを使用します。装置の制御パネルの扱い方に慣れてください。



RZACD507-0

4.

A 「電源オン」 ライト

- ライトが明滅しているときは、装置に電気が流れ込んでいることを示しています。
- ライトが安定して点灯しているときは、装置が立ち上がり、稼動していることを示しています。

B 「電源」 押しボタン

- C** 処理装置活動
- D** 「システム・アテンション」 ライト
- E** 「機能/データ」 表示パネル
- F** 「増分/減分」 ボタン
- G** 「機能開始」 押しボタン
- H** 「モード選択」 押しボタン
- J** 電子キースティック・スロット

付録D. 503x マイグレーション装置付きシステムの配線規則

以下の規則は、503x マイグレーション装置付きのシステムで新しい 5075 拡張タワーをセットアップしているときに適用されます。

システム装置	規則
AS/400e 820	<ul style="list-style-type: none"> 外部装置が 3 台以下の場合、503x は HSL ループの最初の位置に置く必要があります。最初の位置とは、システム装置上のコネクタ A0 に最も近い位置です。図21 および図22 を参照してください。 外部装置が 4 台または 5 台ある場合、503x は HSL ループの 2 番目の位置に置く必要があります。A0 と 503x の間に拡張タワーが 1 台ある必要があります。34ページの図23 および 34ページの図24 を参照してください。 503x は、SPCN ループの最後の位置に置く必要があります。34ページの図25 を参照してください。

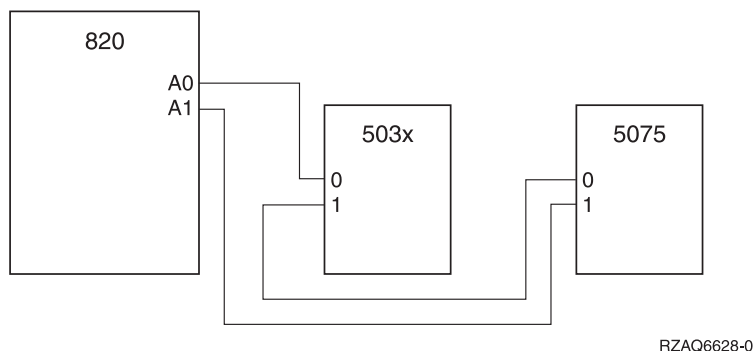


図 21. 2 台の外部装置がある HSL ループ

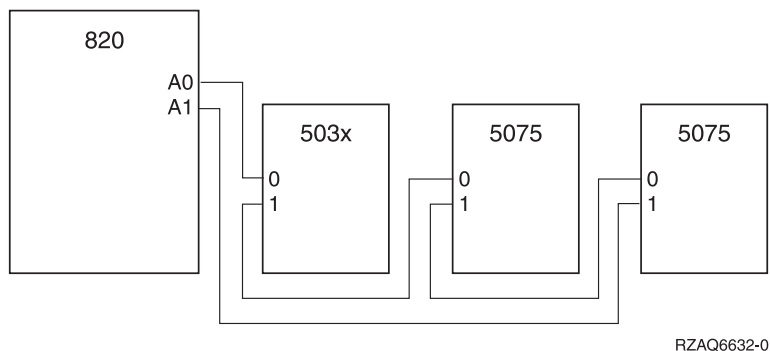
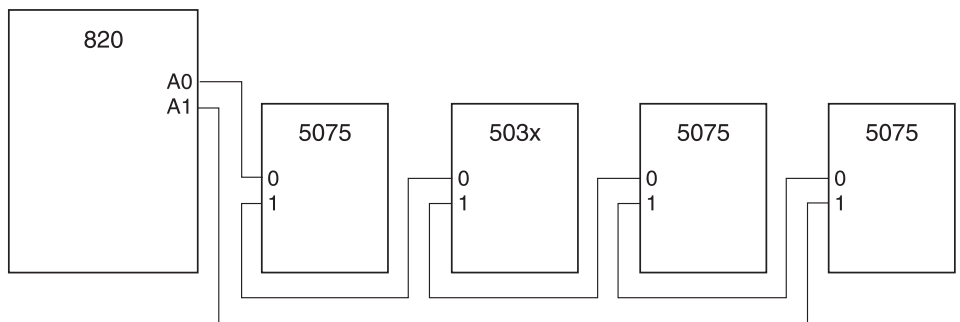
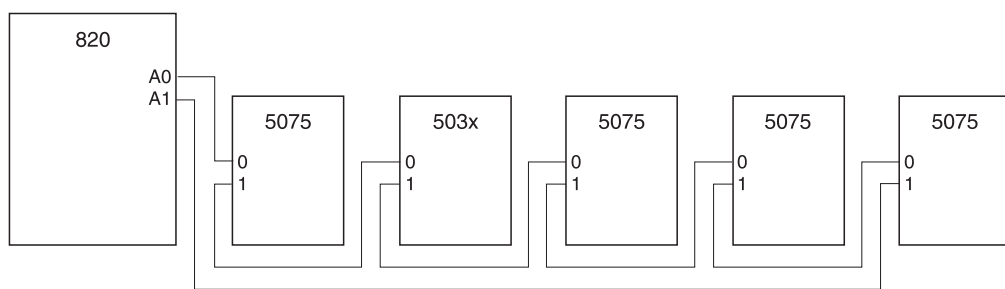


図 22. 3 台の外部装置がある HSL ループ



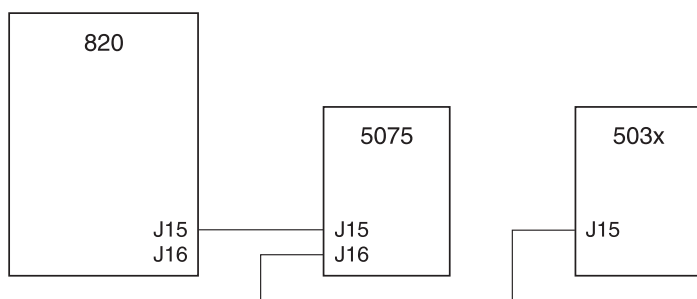
RZAQ6633-0

図 23. 4 台の外部装置がある HSL ループ



RZAQ6634-0

図 24. 5 台の外部装置がある HSL ループ



RZAQ6629-0

図 25. 503x がある SPCN ループ

特記事項

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのようなIBM製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBMライセンス・プログラムまたは他のIBM製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBMの知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品またはサービスを使用することができます。ただし、IBMによって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBMおよび他社は、本書で説明する主題に関する特許権（特許出願を含む）商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用権等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用権等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目2-31
AP事業所
IBM World Trade Asia Corporation
Intellectual Property Law & Licensing

IBM は法律上の瑕疵担保責任を含むいかなる明示または黙示の保証責任も負いません。本書中に含まれているすべてのプログラムは“現存するままの状態”で提供されます。IBM はプログラムの商業的な使用可能性および特定の目的に対する適合性については、いかなる保証も行いません。国によっては、特定の取引に関する明示または黙示の保証責任を拒否することができないため、この文章は適用されません。

この資料の情報に関する変更は随時行われています。それらの変更は、本書の改訂版で反映されます。IBM は、本書で説明されている製品やプログラムを、お客様に通知することなく改善または変更する場合があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、それぞれの製品の提供元、それに関する印刷物、その他の公に使用可能な情報源から得たものです。IBM はそれらの製品をテストしておらず、それら IBM 以外の製品に関して、パフォーマンスの正確さ、互換性、またはその他についての苦情を受け付けることはできません。IBM 以外の製品の機能に関しては、それぞれの製品の提供元にお問い合わせください。

この情報をソフトコピーでご覧の場合は、写真やカラー図表は表示されません。

本書に示されている図や仕様は、IBM の書面による許可を得ずにその一部または全部を複製してはなりません。

本書は、弊社が本書の中で示した特定機器の操作や計画を担当する方々にご利用いただくために作成されたものです。その他の目的には使用しないでください。

電波障害に関する特記事項

クラス A

情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) 表示

電波障害自主規制 届出装置の記述

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

商標

次の用語は、米国およびその他の国における IBM Corporation の商標です。

AS/400

AS/400e series

IBM

OS/400

PowerPC

Java は Sun Microsystems, Inc. の商標です。

その他の会社名、製品名およびサービス名は他社の商標またはサービス・マークである場合があります。



Printed in Japan

SA88-5064-00



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12

Spine information:



AS/400e

5075 PCI 拡張タワー セットアップ V4R5

バージョン 4